

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	SEDスクール札幌桑園		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 17日		~ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2024年 10月 17日		~ 2024年 10月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導員全員が資格保有者で、保育士、幼稚園教諭、理学療法士、言語聴覚士、公認心理士と多職種が在籍している。	カンファレンス、カンファレンス以外の時間でも、その日担当したお子様の様子が気になることがあった時は、専門分野の指導員に質問し助言をもらっている。	研修などに参加し、各自スキルアップしている。
2	指導員の各分野での経験年数が長く、知識が豊富。	保護者とのフィードバック時、前職での経験を活かし助言している。	指導員間でも、質問をし合い、知識の共有ができるよう努めていく。
3	親子通所で保護者様が療育を見ることができ毎回保護者様とのフィードバックの時間がある、ペアレントトレーニングを行っているなど、保護者支援に力を入れている。	保護者様の話を傾聴した上で助言をしているが、より多くの意見を聞きたい時は、再度指導員みんなで話し合うことを保護者様に伝え、カンファレンスなどで話し合い後日助言している。	指導員の情報共有を怠らず、チームとして支援していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	行事を行うのが難しい。	・個別療育で、療育時間が45分と短い。 ・日々の業務に追われ、準備時間をとるのが難しい。	・療育時間外での設定を検討する。 ・早い時期に計画し、準備期間を長くとり、余裕を持って取り組めるようにする。
2	多機能で運営していて、児童発達支援に対し放課後等デイサービス利用の人数が少なく、お友達とのコミュニケーションの練習が難しい時がある。	小学校3年生で利用終了のため、新規で小学生を受け入れることが少ない。	コミュニケーションの練習の希望がある保護者様に、同年代のお友達がいる枠に移動してもらうなどして対応している。